

## 中世木モニタリング調査 3月報告

区 分 モニタリング

日 時 2023年3月17日(金)

場 所 南丹市日吉町中世木地区 調査区域(A・B・C)、笛吹神社周辺、

天 候 晴れのち曇り

主宰者 前田敦子

参加者 6名

今年も中世木モニタリングが始まりました。中世木は南丹市の日吉町にあり、近くには桂川をせき止めた日吉ダムや温泉・温水プールがあるスプリングひよし等の施設もあります。しかし、私たちがモニタリング地を選んだ中世木周辺では、まだまだ自然に恵まれた環境が残っていて、行くたびに新しい発見がある様な所です。

今回、以前からモニタリング区域では見られない様な目新しいものが確認された場所の一つでもある笛吹神社周辺(特に社の裏山斜面)を調査してみました。急斜面でガレ場も有る様な足場の悪い所ですが、多くのミヤマカタバミの白い花が目を引き、ユキワリイチゲやイチリンソウの葉に加えて、今回ユリワサビ(アブラナ科ワサビ属、別名イヌワラビ)が新しく観察できました。

じめじめした神社の周りにはミヤコアオイ(ウマノスズクサ科、日本固有種)の葉があり、葉をかきわけ落ち葉をどかすと、ひもを締めた巾着袋の様にくびれた花が数個あるのが確認できました。他にも、大きなヤブツバキの木には沢山の赤い花が満開で、たっぷり貯めた蜜をご馳走になりました。

今年も同じ場所にウマノスズクサ(馬鈴草、つる性多年草)があり、ぶら下がった鈴(揺らすと種を落とします)を見てきました。



ミヤマカタバミ



ユキワリイチゲ



イチリンソウ



ユリワサビ



ミヤコアオイ



ヤブツバキ

さて、調査区域の A (畑) では、黄緑色のカンゾウの葉が目を引きました。昨年の夏に八重の花を確認していますのでこれはヤブカンゾウです。昨年、食材として少し貰って帰ったのを思い出しました。調査区域の B (山の法面) では、ダンコウバイ (クスノキ科クロモジ属) の黄色い花、ヤマコウバシの木は芽を出して、既に半分ほどの葉を落としていました (受験も終わったので問題ないです)。調査区域の C (山道) では、雪で倒れた倒木がそのまま放置されていましたが調査は可能でした。川の近くではチャルメルソウがラップの様な花をいくつも付けていました。頭を上げるとキブシの花が綺麗に垂れ下がっています。ここでカケスの綺麗な羽根を拾ったのですが、家に帰ると何処に行ったか失くしてしまい残念でした。

今後も地域の方々との交流を深め、引き続き中世木モニタリングを楽しみたいと思います。

(文責 古結)



調査区域の A 畑

### 春の芽吹きを探して



調査区域の B 法面



調査区域の C 山道



フキノトウ



ヤブカンゾウ



サンインタチツボスミレ



ヒメウズ



カケスの羽